

すずむし

NO. 133
May, 1998

倉敷昆虫同好会

岡山県及び周辺地域から採集したナガゴミムシ類 (I)

山地治*・笠原須磨生**・福田元信***

岡山県からのナガゴミムシ属 *Pterostichus* のうち、広義のナガゴミムシ亜属 *Pterostichus* s.lat. (いわゆる大型のナガゴミムシで♂の腹板末端節に特異的で顯著な二次性徵をもつものが多い。以下単にナガゴミムシとだけ記す。) の記録は羽鳥 (1987) による *P. biexcisus subparallelus* ダイセンオオナガゴミムシの報告が最も古いようで、つまり岡山県からは最近までナガゴミムシの記録がなかったと言える。

次いで山地 (1989) により *P. sphodriformis* ヒヨウゴナガゴミムシと *P. daisenicus* ダイセンミズギワナガゴミムシが報告されたが、前種は *P. pseudopachinus* キイオオナガゴミムシの間違いであり山地 (1996) により訂正された。その後、山地・渡辺 (1991) により 3 種が追加され、笠原・山地 (1992) が 1 種を記録し、KASAHARA (1993) は岡山県を基産地とする 2 種を記載した。奥島 (1992) は既知種の 1 種を記録し、岡山県 (1993) では 2 種についてふれられているが出典は不明である。また、佐藤 (1996) は 2 種を記録し、内 1 種は岡山県新記録であったので、これで、岡山県からは 9 種が知られることとなった。

筆者の内、山地は県内のナガゴミムシの採集を統一、笠原に同定を依頼することで近県を含む県内山地帯を調べてきた。途中から福田が参加し、他に後で述べる方々により採集されたナガゴミムシの標本、データを頂くことで、大雑把ではあるが岡山県内の分布が判明してきた。その中には岡山を原産地とする 2 種、本州における分布の西限にあたる 3 種を含んでいる。

今回 12 種類の記録を報告するが、これは笠原・斎藤 (1992) の福井県の 12 種 (内 1 種は未記録種) と同じ

で、福井県が中部山岳地域を含んでいるのに比べて標高の低い中国山地での記録としては、当初の予想より多いものとなった。

今回は山地のまとめた記録の報告に主点を置き、笠原による個々の種の解説は次回に報告する。標本の同定は、笠原の同定した標本を元に、主に山地が同定している。

今回の報告がナガゴミムシの興味を引くところとなり、近県を含むこの地域の調査のきっかけとなり、新知見が加えられれば幸いである。

また、筆者等の調査はこの種群の特徴であるブナ・ミズナラ帯ばかりを調べており、低標高地についてはほとんど行っていない。標高の低い地域でも少ないながら記録があることから、よく調べれば思わぬ成果があるかもしれない。

最後に、いつも貴重な採集品をご恵与くださる三宅誠治氏・那須敏氏・野嶋宏一氏・植田千弘氏・渡辺和夫氏・渡辺昭彦氏、採集データをお教え頂いた田中昭太郎氏・奥島雄一氏にお礼申し上げる。

なお、データの内、採集者の敬称は略させて頂いた。また、筆者等頻繁に出て来る採集者名は福田-F、三宅-M、那須-SN、野嶋-KN、植田-U、山地-Y、渡辺昭彦-AW、渡辺和夫-KW と略記している。(種名の番号は標本写真の番号を兼ねており、それぞれ左側-♂、右側-♀である。)

目 錄

1. *Pterostichus fujimurai* HABU

ダイセンナガゴミムシ

(既産地)

中和村山乗山、奈義町滝山：山地・渡辺 (1991)

新見市秘坂鍾乳穴：佐藤 (1995)

* 〒701-1221 岡山市芳賀5116-11

** 〒273-0031 船橋市西船4-9-13

*** 〒708-1123 津山市下高倉西97

(追加記録)

- 川上村蒜山大山道路, 2♂, 18. VI. 1994, Y
 　　タ　　, 1♂, 11. IX. 1994, Y
 川上村蒜山高原, 1♂, 17. VI. 1995, F
 中和村山乗山, 1♀, 7. VI. 1992, Y
 　　タ　　, 1♀, 21. VI. 1992, Y
 　　タ　　, 1♂, 15. IX. 1994, Y
 　　タ　　, 2♀, 30. VII. 1995, Y
 　　タ　　, 1♂, 25. V. 1996, F
 上斎原村赤和瀬, 1♂, 21. V. 1994, Y
 　　タ　　, 1♀, 27. V. 1995, F
 　　タ　　, 7♂ 5♀, 27. V. 1995, Y
 　　タ　　, 1♀, 16. IX. 1995, Y
 　　タ　　, 1♂, 1. VI. 1996, F
 上斎原村中津河, 3♂ 1♀, 18. V. 1997, Y
 鳥取県佐治村焼山奥林道, 1♀, 21. VIII. 1993, Y
 鳥取県佐治村高鉢山, 2♂, 26. V. 1996, Y

鳥取県大山から記載された種で、近畿北部にかけて分布するとされていたが、近畿北部で採集されているのは次種の可能性が高い。個体数は一般に少なく、石起こしで採集されることが多い。新見市での記録は、鍾乳洞入り口付近の周囲より温度の低い一画で記録されており、興味深い。

2. *Pterostichus shotaroi* MORITA ナンキナガゴミムシ
 Wakasugi-virgin-forest (OKAYAMA), 1♂, 16. VII. 1978, T. Matuda leg. (田中昭太郎氏保有)
 西粟倉村若杉峠, 1♂, 20. VIII. 1984, U
 　　タ　　, 1♀, 5-6. VII. 1994, KW
 　　タ　　, 1♂, 8. VII. 1995, Y
 　　タ　　, 1♂, 13. VI. 1996, F
 東粟倉村後山, 1♀, 21. VI. 1992, SN
 鳥取県若桜町扇の山, 10♂ 10♀, 11. VI. 1995, Y
 兵庫県大屋町氷ノ山 (坂谷林道), 1♂, 27. VI. 1993, Y

前種の近似種であるが、より大きく太短で強壮な外見をしている。紀伊半島南部で記載された種であるが最近中国山地にも分布していることが分かってきた。これまで前種と間違えられて報告されたものも多いと思われる。前種と混棲するのかどうか興味深い。

3. *Pterostichus abaciformis* STRANEO
 ムナビロナガゴミムシ
 (既産地)

加茂町倉見、中和村山乗山：笠原・山地 (1992)

(追加記録)

- 上斎原村赤和瀬, 5♂, 27. V. 1995, Y
 上斎原村中津河, 1♂ 1♀, 27. V. 1995, Y
 　　タ　　, 1♂, 18. V. 1997, Y

長野県島鳥谷が基産地で、中部・東海・近畿の山岳地に広く分布するが、岡山にはそれらの産地から飛び離れて分布している。林床に生息し、石起こしでは採集しにくく、ペイトトラップが有効である。県内での分布は限られるようである。

4. *Pterostichus sphodriformis* BATES

ヒヨウゴナガゴミムシ

- 灘崎町片岡, 1♀, 12. X. 1993, M, ベイトトラップ (以下ベイト)
 　　タ　　, 2♂, 13. X. 1994, M, ベイト
 倉敷市由加山, 2♂ 2♀, 16. VII. 1997, 奥島, ベイト (倉敷市立自然史博物館保管)

*以上3データは笠原同定

- 新庄村毛無山, 12♂ 4♀, 29. V. 1993, N
 　　タ　　, 4♂, 14. V. 1994, Y
 川上村熊谷, 3♂, 26. V. 1988, Y
 川上村西の谷, 1♀, 16. VII. 1994, Y
 川上村蒜山大山道路, 2♂, 18. VI. 1994, Y
 備中町磐窟渓, 2♂, 12. V. 1996, AW
 新庄村野土路, 1♀, 7. VII. 1994, M
 新庄村耳スエ山, 1♀, 7. VII. 1994, M

ヒヨウゴナガゴミムシを含む種群は、ナガゴミムシの中で最も難解な種群を形成している。県内には5種を産するが、本種及び以下の2種は体長も近く同所的に得られることもあり、同定には注意を要する。主に県北西部で採集しているが、児島半島基部の丘陵地にも分布している。

5. *Pterostichus nasutus* KASAHARA

オカヤマナガゴミムシ

(既産地)

- Mt. Ushiro-yama, Aidagun (Holotype, allotype) ;
 Mt. Taki-yama, Nagicho ; Mt. Yamanori-sen,
 Chūka-son ; Kurami, Kamo-chō, Okayama Pref. ;
 KASAHARA (1993)

(追加記録)

- 中和村山乗山, 1♂, 10. IX. 1994, Y
 　　タ　　, 1♀, 30. VII. 1995, Y

上齋原村赤和瀬, 5♂, 21. V. 1994, Y
 ♀, 6♂, 27. V. 1995, F・Y
 ♀, 1♀, 23. IX. 1995, Y
 ♀, 2♂, 1. VI. 1996, F

上齋原村中津河, 3♂ 2♀, 18. V. 1997, Y
 東粟倉村後山, 4♂ 1♀, 21. VI. 1992, SN
 ♀, 2♂ 1♀, 31. V. 1993, KN
 東粟倉村船木山～駒の尾, 1♂, 21. VI. 1992,
 SN
 烏取県佐治村高鉢山, 4♂, 26. V. 1996, Y

岡山県を基産地として記載された種であり、ヒヨウゴナガゴミムシやキイオオナガゴミムシに似ているが、体長が短いこと、♀の背面につやがあることなどで区別可能である。キイオオナガゴミムシとはしばしば混棲する。前2種に比べると標高の高いところに分布するようである。石起こしやベイトトラップで採集されるが少ない。

6. *Pterostichus pseudopachinus* NAKANE キイオオナガゴミムシ

(既产地)

奈義町滝山：山地（1989. *P. sphodriformis* ヒヨウゴナガゴミムシ）：山地（1996, 訂正）

新見市秘坂鍾乳穴：佐藤（1995）

（追加記録）

新庄村毛無山, 2♂, 14. V. 1994, Y
 川上村西の谷, 1♂ 2♀, 16. VII. 1994, Y
 川上村蒜山大山道路, 3♂ 2♀, 18. VI. 1994, Y
 上齋原村中津河渓谷, 1♂, 27. V. 1995, F
 ♀, 1♀, 16. IX. 1995, Y

加茂町岩渕, 1♀, 3. VIII. 1991, KN

勝北町奥津川, 1♀, 2. VI. 1995, F
 ♀, 1♂ 1♀, 27. VIII. 1995, Y

♀, 1♂, 11. V. 1997, Y

奈義町滝山, 2♂, 30. V. 1993, KN

西粟倉村大滝の山, 1♀, 16. VI. 1996, Y

西粟倉村若杉峠, 1♂, 8. VII. 1995, F

♀, 3♂ 1♀, 4. VI. 1994, Y

東粟倉村後山, 2♀, 31. V. 1993, KN

鳥取県佐治村焼山奥林道, 1♀, 21. VIII. 1993, Y

鳥取県智頭町八河谷, 8♂ 5♀, 11. VIII. 1996, Y

兵庫県大屋町氷ノ山（坂谷林道）, 1♀, 27. VI.

1993, Y

紀伊半島大台ヶ原を基産地とする種で、前種に近似

するが、♀の背面に艶がなく、鞘翅後半に最大幅をもつ体形等により区別できる。石起こしやベイトトラップで採集される。県北地域に広く分布するが個体数は少ない。

7. *Pterostichus masidai* ISHIDA マシダナガゴミムシ (既产地)

奈義町滝山, 中和村山乘山, 上齋原村三が上（山上山）：山地・渡辺（1991）

Mt. Yamanori-sen, Chōkaku-san, Okayama Pref. : KASAHARA (1993)

（追加記録）

新庄村毛無山, 5♂ 3♀, 29. V. 1993, KN

♀, 1♀, 14. V. 1994, Y

川上村西の谷, 1♂ 1♀, 16. VII. 1994, Y

川上村蒜山大山道路, 2♂ 3♀, 1. VIII. 1992, Y

♀, 11♂ 3♀, 18. VI. 1994, Y

♀, 1♀, 11. IX. 1994, Y

川上村蒜山原, 1♂, 17. VI. 1995, F

中和村山乘山, 5♂ 1♀, 15. VI. 1991, Y

♀, 3♂, 7. VI. 1992, Y

♀, 6♂ 1♀, 21. VI. 1992, Y

♀, 3♂, 5. VI. 1993, Y

♀, 2♀, 25. IX. 1993, Y

♀, 3♂, 10. IX. 1994, Y

♀, 1♂, 9. VII. 1996, F

上齋原村赤和瀬, 3♂, 21. V. 1994, Y

♀, 7♂, 27. V. 1995, F・Y

上齋原村中津河, 3♂, 27. V. 1995, Y

♀, 1♂, 16. IX. 1995, Y

♀, 9♂ 1♀, 18. V. 1997, Y

加茂町倉見, 2♀, 9. VIII. 1990, KN

加茂町倉見（根知峰）, 1♂ 4♀, 26. IX. 1992, Y

♀, 1♂, 5. VI. 1993, Y

加茂町岩渕, 1♀, 3. VIII. 1991, KN

西粟倉村若杉峠, 1♂, 3. VIII. 1984, U

♀, 1♂, 9. VIII. 1984, U

♀, 2♂, 16. VIII. 1984, U

♀, 1♂, 5. VI. 1985, U

♀, 1♀, 4. VI. 1994, Y

♀, 1♂, 13. VIII. 1994, F

♀, 2♂, 6. VI. 1995, F

♀, 1♂, 8. VIII. 1995, Y

♀, 1♂, 13. VI. 1996, F

鳥取県佐治村高鉢山, 1♂, 26. V. 1996, Y

鳥取県智頭町八河谷, 2♀, 28. VI. 1992, Y

島根県から記載された種で中国山地に分布する。県内には山地帯に広く分布し個体数も多い。石起こしやペイトトラップで採集され、県内のナガゴミムシでは多い方である。

8. *Pterostichus yamajii* KASAHARA

ヤマジナガゴミムシ

(既产地)

Mt.Yamanori-sen, Chuka-son (Holotype, allotype, Paratypes) ; Kurami,Kamocho ; Taki-yama, Nagi-chō : Mt.Sanjo-san, near Sangajo, Kamisaibara-son ; Yoshinaga, Kayō-chō ; Hiruzen-Daisen Highway, Kawakami-son, Okayama Pref. : KASAHARA (1993)

(追加記録)

川上村西の谷, 2♂ 2♀, 16. VII. 1994, Y
 川上村蒜山大山道路, 5♂ 1♀, 18. VI. 1994, Y
 落合町栗原, 1♀, 7. V. 1996, F
 新庄村毛無山, 2♂ 1♀, 29. V. 1993, KN
 中和村山乘山, 1♀, 25. IX. 1993, Y
 　　， 1♀, 5. VI. 1993, Y
 上斎原村赤和瀬, 1♂, 21. V. 1994, Y
 鳥取県佐治村高鉢山, 1♂, 26. V. 1996, Y

岡山県から記載された種である。前種に近似しており、なおかつ混棲しているが、♂の腹端の形状の差、前胸背基部に点刻がなく滑らかなことなどの特徴で区別できる。岡山県特産であったが、鳥取でも採集できた。

9. *Pterostichus biexcisus subparallelus* STRANEO

ダイセンオオナガゴミムシ

(既产地)

神郷町三室：羽鳥（1987）
 阿波村～加茂町：岡山県（1993）
 蒜山地方：奥島（1992b, 写真付）

(追加記録)

新見市千屋実実谷, 1♀, 2. X. 1993, M, ペイト
 新庄村毛無山, 3♂ 5♀, 10. VII. 1994, KN, ペイト
 新庄村野土路, 5♂ 4♀, 7. VIII. 1994, M, ペイト
 新庄村耳スエ山, 2♂, 7. VIII. 1994, M, ペイト
 川上村, 1♂, 16. VII. 1986, U

川上村上徳山, 1♀, 7. VII. 1994, M, ペイト

　　， 1♀, 1. X. 1994, M, ペイト

川上村蒜山大山道路, 1♀, 16. VIII. 1992, AW

大佐町若山, 1♂, 2. X. 1993, M, ペイト

中和村山乘山, 1♀, 9. VII. 1986, U

　　， 2♀, 25. IX. 1993, Y, ペイト

上斎原村赤和瀬, 2♂, 27. V. 1995, F・Y

上斎原村中津河, 1♂, 27. V. 1995, Y

上斎原村三ヶ上（山上山）, 1♀, 26. V. 1991, Y

加茂町三十人ヶ仙, 1♂, 14. VI. 1990, KN, ペイト

加茂町倉見渓谷, 1♀, 23. IX. 1994, F

加茂町倉見, 2♀, 9. VII. 1990, KN, ペイト

加茂町根知峰, 1♀, 26. IX. 1992, Y, ペイト

阿波村, 1♂, 22. VI. 1996, F

阿波村大杉陰所跡, 2♂, 10. X. 1994, M, ペイト

鳥取県若桜町扇の山, 1♂, 11. VI. 1995, Y

基亜種は紀伊半島中南部に分布し、本亜種は鳥取県大山から兵庫県氷の山にかけて分布する。県内では北部山地に広く分布するが、石起こしではありません採集されない。ペイトトラップが有効である。

10. *Pterostichus daisenicus* ISHIDA

ダイセンミズギワナガゴミムシ

(既产地)

奈義町滝山：山地（1989）

(追加記録)

新庄村毛無山, 7♂ 4♀, 29. V. 1993, KN

　　， 10♂, 14. V. 1994, Y

川上村熊谷, 1♂, 21. VI. 1988, Y

川上村湯船川, 1♂, 11. VII. 1993, Y

中和村山乘山, 1♂, 18. V. 1991, Y

　　， 1♂ 1♀, 15. VI. 1991, Y

　　， 1♂, 7. VI. 1992, Y

　　， 2♂ 1♀, 21. VI. 1992, Y

　　， 1♂ 3♀, 5. VI. 1993, Y

　　， 1♂ 1♀, 30. VII. 1995, Y

上斎原村赤和瀬, 11♂ 3♀, 21. V. 1994, Y

　　， 10♂ 2♀, 27. V. 1995, F・Y

　　， 1♂ 2♀, 1. VI. 1996, F

上斎原村中津河, 1♂ 2♀, 27. V. 1995, F・Y

　　， 6♂ 1♀, 18. V. 1997, Y

上斎原村三十人ヶ仙, 2♂, 19. VII. 1992, Y

加茂町根知峠, 2♂1♀, 5. VI. 1993, Y

勝北町奥津川, 3♂2♀, 2. VI. 1995, F

タ, 1♂, 11. V. 1997, Y

奈義町滝山, 1♀, 25. V. 1989, Y

タ, 1♀, 27. V. 1990, Y

西粟倉村大滝の山, 4♂5♀, 16. VI. 1996, Y

西粟倉村若杉峠, 1♂, 3. VI. 1984, AW

タ, 1♂, 2. IX. 1985, U

タ, 1♂, 25. VI. 1988, Y

タ, 1♂, 29. VII. 1990, Y

タ, 7♂4♀, 4. VI. 1994, Y

タ, 2♂, 19. V. 1995, F

東粟倉村後山, 6♂7♀, 31. V. 1993, KN

鳥取県智頭町八河谷, 1♂3♀, 28. VI. 1992, Y

タ, 6♂2♀, 4. VII. 1993, Y

タ, 2♀, 11. VIII. 1996, Y

鳥取県若桜町扇の山, 6♂3♀, 11. VI. 1995, Y

鳥取県大山を基産地とする種で、県北部に広く分布する。好水性の種で、沢沿いの石起こしで採集され、個体数は多いが、なぜか大山の岡山県側である川上村北西部ではあまり採集できないでいる。

11. *Pterostichus cordatissimus* (STRANEO)

フクイナガゴミムシ

新庄村野土路, 1♀, 11. VII. 1994, M, ベイト

上齋原村赤和瀬, 2♂, 27. V. 1995, F

タ, 1♀, 23. IX. 1995, Y

上齋原村中津河, 1♀, 18. V. 1997, Y

加茂町倉見, 1♀, 9. VII. 1990, KN, ベイト

奈義町滝山, 1♀, 24. IX. 1984, U

西粟倉村若杉峠, 1♀, 5-6. VIII. 1994, KW, ベイト

タ, 1♂, 8. VII. 1995, Y

鳥取県智頭町八河谷, 1♀, 11. VIII. 1996, Y

福井県から記載された種であるが、雄が未記載のままになっていて問題の多い種である。近くでは大山から記録されている。石起こしでは採集がむつかしく、ベイトトラップが有効である。分布は広いようであるが個体数は少ない。

12. *Pterostichus latistylis* TANAKA クナカナガゴミムシ (既产地)

西粟倉村若杉峠, 上齋原村三が上(山上山) : 山地・渡辺(1991)

西粟倉村若杉自然林・東粟倉村後山地域 : 岡山県

(1993)

(追加記録)

新庄村毛無山, 1♂, 14. V. 1994, Y

中和村山乘山, 2♂1♀, 15. VI. 1991, Y

タ, 1♂, 18. V. 1991, Y

タ, 1♂1♀, 7. VI. 1992, Y

タ, 1♂2♀, 5. VI. 1993, Y

上齋原村赤和瀬, 2♂1♀, 21. V. 1994, Y

タ, 1♀, 27. V. 1995, Y

上齋原村中津河, 1♀, 27. V. 1995, Y

上齋原村三十人ヶ仙, 1♂, 19. VII. 1992, Y

西粟倉村大滝の山, 1♂1♀, 16. VI. 1996, Y

西粟倉村若杉峠, 1♂, 16. VIII. 1984, U

タ, 1♂, 20. VIII. 1984, U

タ, 2♀, 4. VI. 1994, Y

タ, 1♂, 13. VII. 1994, F

タ, 1♂, 19. V. 1995, F

タ, 1♂, 13. VI. 1996, F

鳥取県智頭町八河谷, 1♂, 28. VI. 1992, Y

タ, 2♂1♀, 4. VII. 1993, Y

タ, 1♂1♀, 11. VIII. 1996, Y

関東山地と赤石山脈北部から記載された種で、分布は広く、東北地方にも分布している。岡山県は分布の西限にあたる。沢の最奥部の石下で採集されることが多いが、個体数は少ない。県内のナガゴミムシでは最も湿潤な環境を好みようであり、乾いた環境では採集できない。また、ベイトトラップにもあまり入らないようである。

参考文献

羽鳥祐之, 1987. 阿新地域に産する鞘翅目昆虫. すずむし(122) : 1-17.

笠原須磨生・山地治, 1992. ムナビロナガゴミムシ岡山県に産す. 甲虫ニュース(100) : 23.

佐藤陽路樹, 1995. 岡山県中部の鍾乳穴から採集されたナガゴミムシ2種の記録. 甲虫ニュース(110) : 7.

山地治・渡辺昭彦, 1989. 岡山県から採集したベニボタル. すずむし(123) : 10-12.

山地治・渡辺昭彦, 1991. 岡山県より採集した甲虫類の記録. すずむし(126) : 11-19.

山地治・渡辺昭彦, 1992. 岡山県より採集した甲虫類の記録. すずむし(127) : 13-17.

岡山県編, 1993. おかやまの自然 第2版, 322pp.
岡山県環境保健部自然保护課, 岡山.

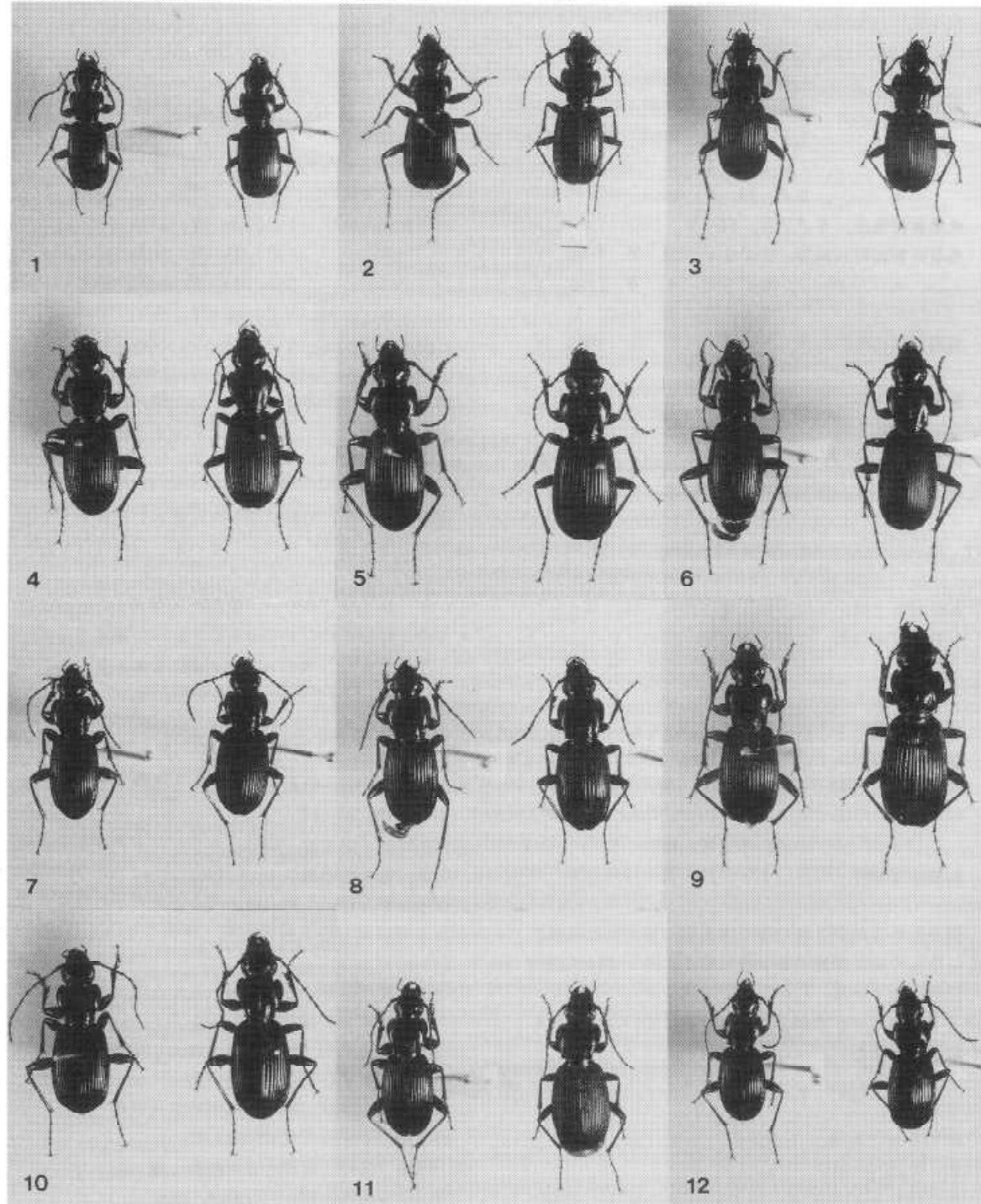
奥鳥雄一, 1992. 蒜山高原の昆虫, しぜんしくらしき
(2) : 5-6.

山地治, 1989. 岡山県より採集した甲虫類の記録. す
ずむし(123) : 14-19.

山地治, 1996. 岡山県から採集した甲虫類の記録. す

ずむし(130) : 19-21.

KASAHARA,S.,1993. Two New Pterostichine Carabids
(Coleoptera,Carabidae) from Okayama Prefetur,
Western Honshu,Japan.,Elytra,Tokyo,21 (1) :
165-172.



岡山県内産アリスアブ属5種について

近 藤 光 宏*

その名が示すように、アリスアブ属の幼虫はアリの巣の中に寄食して生育するといった風変わりなアブである。新開孝(1990)によれば、日本産アリスアブ属は9種ほど分布していると言われている。ちなみに筆者の知り得た他県の情報を参考までに表1にまとめてみた。幸い手元には現在5種類のアリスアブ属の標本を保管している。この際これまでに他の採集者より譲り受けていた標本や他機関による記録等も合わせて報告しておきたい。今後本属に関する調査研究の手掛かりになれば幸いである。

なお、採集者名を省略してあるものは、すべて近藤の採集品である。

1. *Microdon oitanus* SHIRAKI

トゲアリスアブ(オオイタアリスアブ)(図1)

- ① 1♂, 新見市新見, 3. VI. 1966, 矢野重明
- ② 1♂, 新見市金谷, 12. VI. 1966, 矢野重明
- ③ 1♂, 新見市新見, 14. V. 1967, 矢野重明
- ④ 1♂, 阿哲郡哲多町荒戸山, 11. VI. 1976, 三宅宗夫
- ⑤ 1♂ 2♀, 真庭郡新庄村毛無山, 26. VI. 1976
- ⑥ 1♂ 1♀, 真庭郡新庄村毛無山, 26. VI. 1976, 三宅宗夫(写真1:♀)
- ⑦ 1♂ 1♀, 倉敷市児島(クゲイ岬), 13. V. 1978
※近藤光宏(1980)
- ⑧ 1♀, 倉敷市児島(クゲイ岬), 20. V. 1978
- ⑨ 1♀, 真庭郡新庄村毛無山, 18. VI. 1978
- ⑩ 1♀, 苫田郡奥津町奥津溪, 26. VI. 1995, 近藤弘美

本種は緑銅色または銅緑色で雄には光沢もある美しい種である。体長15~16mm。成虫出現期は5~6月。分布は本州、四国、九州。岡山県下からはこれまでに上記10例記録されている。倉敷市の2例を除けば、だいたい県北部に分布していると言えよう。

2. *Microdon bifasciatus* MATSUMURA

フタオビアリスアブ(図2)

- ⑪ lex., 真庭郡川上村内海亘, 4. VII. 1982, 重井博
- ⑫ lex., 真庭郡八束村(東の湿原), 4. VII. 1982,

重井博

- ⑬ 1♀, 真庭郡新庄村土用, 24. VII. 1983(写真2)
- ⑭ 真庭郡新庄村毛無山, 5. VII. 1994, ウエスコ
※ウエスコ(1995)

体全体は黒色。体長14~15mm。成虫出現期は6~7月。分布は北海道、本州。岡山県では採集例は少なく、いずれも県最北部の自然度の高い林縁、湿地から確認されている。

3. *Microdon auricomus nigripes* SHIRAKI

キンアリスアブ(図3)

- ⑮ 1♂ 1♀, 岡山市掛畠(千升峠), 23. V. 1982, 重井博(写真3:♀)
- ⑯ 2exs., 倉敷市鶴形(鶴形山), 27. V. 1984
※青野孝昭・近藤光宏(1986)
- ⑰ lex., 上房郡賀陽町串ヶ谷, 21. VI. 1987
- ⑱ 1♀, 真庭郡新庄村土用, 28. VI. 1987
- ⑲ 1♀, 倉敷市藏本(弥高山), 5. VI. 1988
- ⑳ 1♀, 岡山市芳賀, 7. V. 1989
- ㉑ 1♀, 岡山市芳賀, 22. V. 1989, 青野孝昭
- ㉒ 1♀, 赤磐郡熊山町畠, 21. V. 1994
- ㉓ lex., 井原市岩倉町, 22. V. 1994, 岡山県環境保全事業団所蔵

形態上はトゲアリスアブに酷似しているが、より小型である。本州、四国及び朝鮮半島に分布。岡山県では上記のように9例記録されているが、新庄村のものを除けば県南部よりに分布していると言えよう。

4. *Microdon japonicus* YANO アリスアブ(図4)

- ㉔ 1♂ 1♀, 苫田郡上齋原村恩原川, 8. VI. 1976, 内1♀は福原檜氏同定
- ㉕ 1♀, 真庭郡八束村中蒜山, 27. VI. 1976
- ㉖ lex., 苫田郡奥津町岡山県立森林公園, 10. VI. 1979, 小林一貫(岡山県立森林公園内展示標本)
- ㉗ lex., 倉敷市古水江, 9. V. 1982, 青野孝昭
- ㉘ 1♀, 倉敷市酒津八幡山, 29. V. 1982
※近藤光宏(1983)

- ㉙ 1♀, 真庭郡八束村東, 6. VI. 1982(写真4)
- ㉚ lex., 真庭郡川上村内海亘, 6. VI. 1982
- ㉛ 4♀, 苫田郡加茂町細池湿原, 9. VI. 1985
- ㉜ 1♂, 苫田郡阿波波村大杉, 8. VI. 1986
- ㉝ 3♀, 真庭郡久世町(新池), 15. V. 1994

* 〒710-0046 倉敷市中央2-6-1,

倉敷市立自然史博物館

① 1♀, 赤磐郡吉井町室原, 5. VI. 1995

体は黒色で藍青色の光沢がある。体長は12~14mm。成虫の出現期は比較的長く4~7月に及ぶ。北海道、本州、四国に分布。岡山県では南部及び中部にも分布するが、どちらかと言えば北部よりに片寄っている。なお、県内産アリスアブ属5種の中では件数、個体数共に最も多い。

5. *Microdon caeruleus simplex* SHIRAKI

ヒメルリイロアリスアブ(図5)

① 1♀, 苫田郡奥津町岡山県立森林公園, 8. VII. 1976(写真5)

② 1♂ 1♀, 真庭郡川上村内海屹, 18. VII. 1982

③ 1♀, 苫田郡阿波村黒岩高原, 4. VII. 1986

体長6~7mmと小型で藍青色。成虫出現期は7~8月。本州、四国、九州及び台湾、印度に分布。大塚勲(1994)によれば、熊本県から1♀の報告があり少ないと付記している。岡山県では、これまでに上記のわずか3例をいずれも県最北の高原、または林縁で記録している。

おわりに、1975年当東京農業技術研究所の福原脩男氏にはハエ目について、同定のほか数々のご助言を戴いた。お蔭様で、これまでほとんど手づかずであった分野の本県産昆虫相の解明へ向けて動機付けとなつた。ここに紙面をお借りして深謝申し上げる次第である。また、青野孝昭、重井博、三宅宗夫、矢野重明の諸氏には、貴重な標本をお譲り戴いておりながら、報告の機会が大変遅くなつたことをお詫びするとともに、暖かいご行為に対し、厚く御礼申し上げたい。

表1. アリスアブ属についての岡山県並びに他県における分布情報

県名 種名	富山県	広島県	三重県	佐賀県	熊本県	愛媛県	岡山県
キンアリスアブ		1♂	3件			交尾観察	1♂ 6♀ 他4exs.
ヒメルリイロアリスアブ		1♂			1♀ (少ない)		1♂ 3♀
アリスアブ	1♂ 1♀		1件	3♀ (少ない)	2♂		2♂ 12♀ 他3exs.
トゲアリスアブ				1♂ 2♀ (少ない)	2♀		7♂ 7♀
フタオビアリスアブ							1♂ 1♀ 他2exs.
シリグロアリスアブ(仮称)				1♀			

引用文献

- 青野孝昭・近藤光宏, 1986. 街中の緑地、鶴形山の昆虫、倉敷市立自然史博物館研究報告(1): 41-73, pls.4.
- 池崎善博・河北均, 1996. 三重県のハナアブ(1), ひらくら, 40: (4). pp.267-274. 三重昆虫談話会.
- 池崎善博・根来尚, 1997. 富山県のハナアブ(1), 富山市科学文化センター研究報告20号, pp.29-33.
- 池崎善博・中村慎吾, 1997. 広島県のハナアブ類(III), 比和科学博物館研究報告, 35: (2). pp.111-115. 比和町立自然史博物館, 広島県比婆郡比和町.
- ウエスコ, 1997. 毛無山自然環境調査報告書, 昆虫類, pp.71-77. 資料編5-2, (19), ウエスコ, 岡山.
- 大塚勲, 1994. 熊本県のハナアブ(2), 熊本同好会報, 40: (1), pp. 1-11.
- 近藤光宏, 1980. 竜王山山系の双翅目(ハエ・アブ類), 倉敷の自然 竜王山山系, pp.97-99. 倉敷市衛生局環境部, 倉敷.
- 近藤光宏, 1983. 兜山, 高梁川河川敷の昆虫(網翅目・ナナフシ目・直翅目・半翅目・双翅目・膜翅目・シリアゲムシ目), 倉敷の自然「高梁川河川敷」, pp.27-40. 倉敷市衛生局環境部, 倉敷.
- 新開孝, 1990. アリスアブ・キンアリスアブ観察記, 愛媛の昆虫, 10, pp.30-34.
- 平嶋義宏, 1989. 日本昆虫総目録, ハエ目, pp.699-873. 九州大学農学部昆虫学教室・日本野生生物研究センター, 北九州.



図1. トゲアリスアブ



図2. フクオビアリスアブ



図3. キンアリスアブ

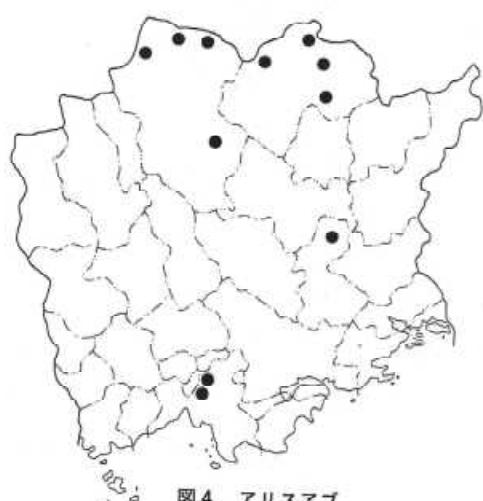
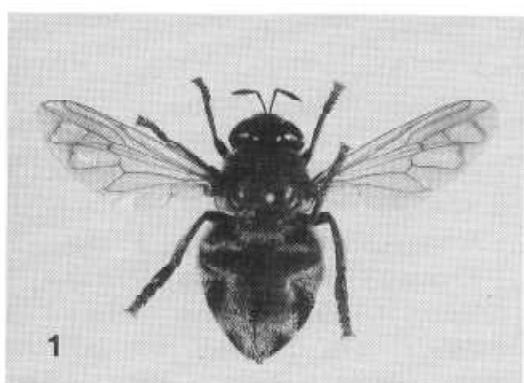
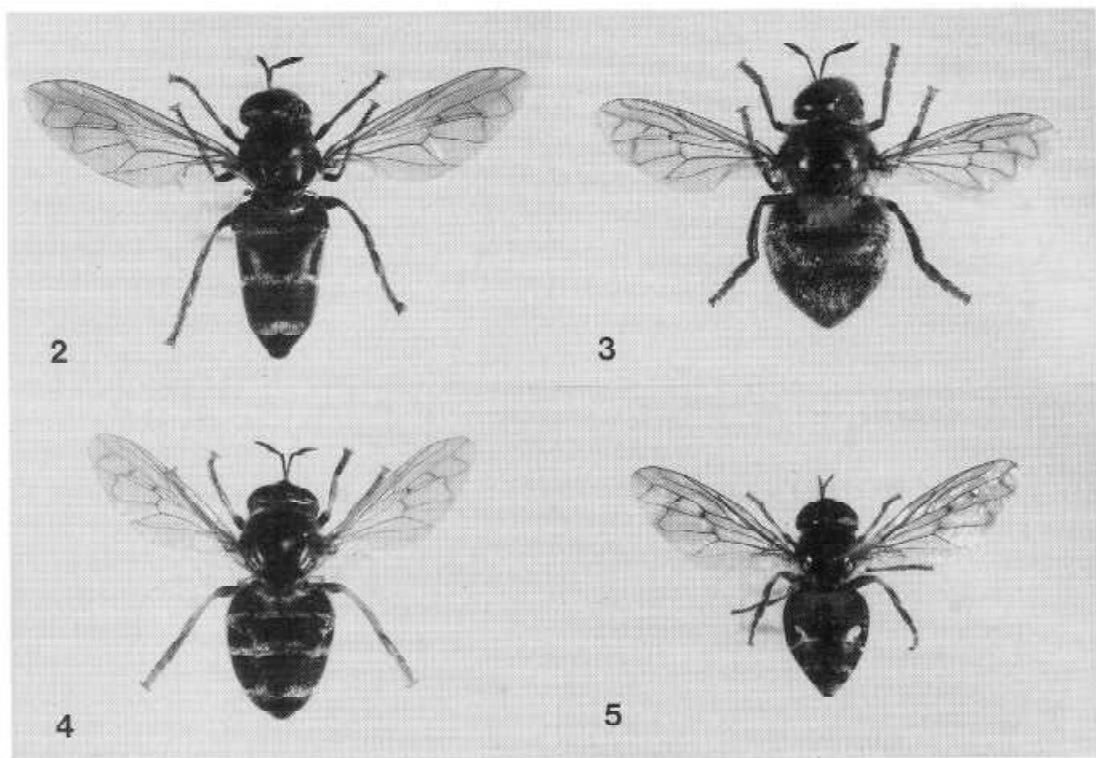


図4. アリスアブ



図5. ヒメルリイロアリスアブ





おとしみ

キガオナガハナアブ岡山県内の記録3例

近藤光宏

生態不明で、かつては中国山地が南限とされていたキガオナガハナアブは、岡山県では早くは青野孝昭氏による1962年の記録がある。

その後筆者は2例を記録していたので、合わせて報告しておきたい。

データ

Brachypalpoides flavifacies (Shiraki)

キガオナガハナアブ

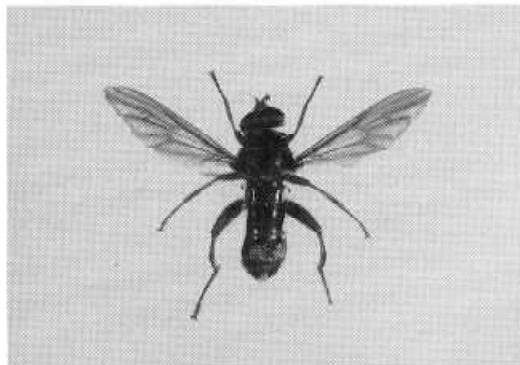
1♀, 真庭郡湯原町, 22. IV. 1962, 青野孝昭氏採集

1♂, 苫田郡加茂町細池湿原, 9. IV. 1985

1♀, 上房郡賀陽町布郡, 28. IV. 1992 (写真)

体長は15~17mm。黒色で銅色の強い光沢がある。成虫出現期は4~8月。現在北海道、本州、四国、九州、千島に分布が知られている。なお、本種に関する県下の採集記録、知見等ありましたらご発表願いたい。

おわりに、上記の記録について発表をお許しいただ



いた青野孝昭氏に御礼申し上げる。

参考文献

枝重忠夫, 1965. 原色昆虫大図鑑II. pp.213-214. 北隆館, 東京.

平嶋義宏, 1989. 日本昆虫総目録. ハエ目, pp.699-873. 九州大学農学部昆虫教室・日本野生生物研究センター, 北九州.

(〒710-0046 倉敷市中央2-6-1, 倉敷市立自然史博物館)

岡山県のツツキノコムシ科甲虫類分布資料

川那部 真*・吉原 一美**・青野 孝昭***・山地 治****

ツツキノコムシ科は、キノコやカビなどの菌類を食べる食性甲虫の一群であり、大部分の種は一生のほとんどを硬質菌の子実体の中で過ごすことが知られている（川那部, 1992; 川那部, 1998）。本科の甲虫は、日本からは現在までに23属73種が記録されているが、小型で日につきにくいことや、一般に同定が難しいことなどから、地域別の分布記録はあまり集積されていない。

岡山県からは、これまでに *Nipponocis magnus* NOBUCHI ケマダラナガツツキノコムシ, *Cis boleti polypori* CHUJŌ オオツツキノコムシ, *C. hieroglyphicus* REITTER ゴマツツキノコムシ, *Euxestocis bicornutus* MIYATAKE フタツノツヤツツキノコムシ, *Orthocis nigrospinosus* (NOBUCHI) ツヤクロツツキノコムシ, *Octotemnus laminifrons* (MOTSCHULSKY) ツヤツツキノコムシの6種が記録されていたに過ぎない（山地, 1997）。

筆者のうち、青野と山地は、これまで県下の甲虫の調査を行ってきたが、その過程で本科の標本がある程度蓄積してきた。そこで今回、川那部がこれを同定した結果、岡山県未記録種9種を含む12種が判明したので、これに川那部の所蔵する標本（岡山県未記録種1種を含む）のデータを加え、分布資料として発表したい。これにより岡山県産の本科は全部で16種となる。

吉原はこの報文を企画し、青野・山地の標本を川那部に同定依頼し、結果を報文にまとめた。

一部の種に対しても写真を添付したが、その番号は学名の前の番号に対応している。

発表にあたり、貴重な標本を提供された田川勇治、渡辺昭彦両氏に深謝申し上げる。

1. *Cis boleti polypori* CHUJŌ, 1939

オオツツキノコムシ

西粟倉村若杉峠, 1ex., 13. VII. 1979, 田川勇治

* 〒171-0033 東京都豊島区高田3-164

株環境指標生物

** 〒700-0011 岡山市学南町1-8-35

*** 〒710-0817 倉敷市大内937-8

**** 〒701-1221 岡山市芳賀5116-11

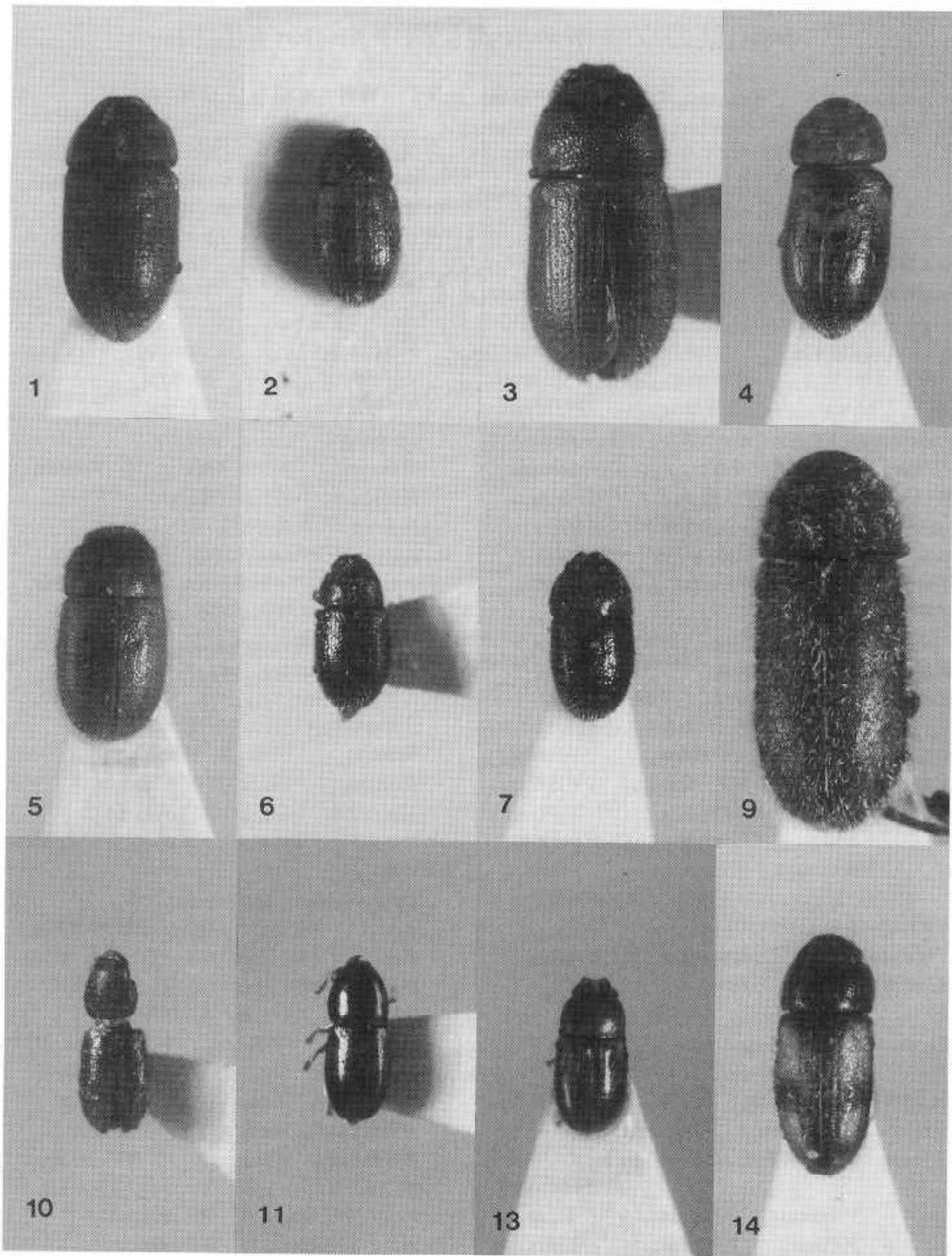
西粟倉村若杉峠, 1ex., 23. IX. 1990, 渡辺昭彦
中和村山乘山, 1ex., 6. VIII. 1988, 渡辺昭彦
新庄村毛無山, 1ex., 20. VII. 1979, 青野
カワラタケやオオチリメンタケなどに普通。

2. *Cis hieroglyphicus* REITTER, 1877
ゴマツツキノコムシ
苦田郡三ヶ上, 1ex., 16. V. 1976, 山地
新見市土橋, 2exs., 28. III. 1976, 青野
和気町和氣, 1ex., 11. IV. 1976, 青野
カワラタケやヤキフタケなどに普通。

3. *Cis japonicus* NOBUCHI, 1955
タテスジツツキノコムシ [岡山県未記録]
新庄村土用, 1ex., 15. VII. 1982, 青野
カワラタケ類にいるが少ない。

4. *Cis nipponicus* CHUJŌ, 1940
ミヤマツツキノコムシ [岡山県未記録]
苦田郡三ヶ上, 4exs., 16. V. 1976, 山地
西粟倉村若杉峠, 3exs., 25. VI. 1989, 山地
高梁市臥牛山, 1ex., 8. V. 1988, 青野
高梁市臥牛山, 3exs., 28. VII. 1989, 川那部
高梁市臥牛山, 1ex., 16. IX. 1989, 山地
御津町宿, 1ex., 11. IV. 1982, 青野
岡山市半田山, 1ex., 12. V. 1997, 青野
玉野市常山, 1ex., 20. IV. 1991, 山地
カワラタケやオオチリメンタケなどにいる普通種で非常に多い。

5. *Cis seriatopilosus* MOTSCHULSKY, 1860
キタツツキノコムシ [岡山県未記録]
奥津町三ツ子原, 2exs., 1. VI. 1975, 青野
西粟倉村若杉峠, 1ex., 16. VII. 1993, 青野
新庄村土用, 1ex., 16. VII. 1978, 青野
哲多町おもづぼ湿原, 1ex., 4. IX. 1994, 青野
高梁市臥牛山, 1ex., 8. X. 1988, 渡辺昭彦
高梁市臥牛山, 2exs., 16. IX. 1989, 山地
倉敷市玉島陶, 1ex., 9. V. 1988, 青野
吉永町八塔寺, 2exs., 18. V. 1975, 青野
岡山市芳賀, 1ex., 22. V. 1989, 青野
岡山市鳥山, 1ex., 4. VII. 1997, 青野
瀬戸町塩納, 1ex., 9. IX. 1994, 青野
カワラタケやオオチリメンタケなどにいる普通種で



非常に多い。

6. *Cis seriatulus* KIESENWETTER, 1879

ミツアナツツキノコムシ [岡山県未記録]

神郷町新在家, 1ex., 3. V. 1987, 青野
倉敷市玉島陶, 1ex., 9. V. 1988, 青野
カワラタケ類にいるが多くない。

7. *Cis subrobustus* MIYATAKE, 1955

キムネツツキノコムシ [岡山県未記録]

高梁市臥牛山, 1ex., 11. VI. 1988, 渡辺昭彦
高梁市臥牛山, 3exs., 28. VII. 1989, 川那部
備中町西油野柳平, 1ex., 10. V. 1989, 山地
備中町西油野柳平, 4exs., 27. V. 1989, 渡辺
昭彦

備中町西油野, 6exs., 9. IV. 1989, 渡辺昭彦,
エゾエノキ倒木

カワラタケやヒロタケなどにいるが多くない。

8. *Euxestocis bicornutus* MIYATAKE, 1954

フツツノツヤツツキノコムシ

高梁市臥牛山, 13exs., 28. VII. 1989, 川那部
マンネンタケやオオスルメタケなどにいるが多くな
い。

9. *Nipponocis longisetosus* NOBUCHI, 1955

ケナガツツキノコムシ [岡山県未記録]

新見市羅生門, 1ex., 6. V. 1996, 青野
新見市羅生門, 1ex., 14. V. 1996, 青野
高梁市臥牛山, 1ex., 13. XI. 1976, 山地
高梁市臥牛山, 1ex., 15. IV. 1978, 山地
高梁市臥牛山, 1ex., 11. VI. 1988, 渡辺昭彦
アカマツなどに生じるシハイタケ類にいるが, かな
り稀。

10. *Nipponocis unipunctatus* NAKANE et NOBUCHI, 1956

トカラナガツツキノコムシ [岡山県未記録]

智陽町吉川, 1ex., 24. IX. 1979, 青野
アカマツなどに生じるシハイタケ類にいるが, かな
り稀。トカラ中之島産の標本に基づいて記載されたた
めこの和名があるが, 北海道から琉球列島まで広く分
布する。

11. *Octotemnus laminifrons* (MOTSCHULSKY, 1860)

ツヤツツキノコムシ

高梁市臥牛山, 46exs., 28. VII. 1989, 川那部
高梁市臥牛山, 1ex., 16. IX. 1989, 山地
備中町西油野, 1ex., 12. III. 1989, 山地
備中町西油野, 5exs., 9. IV. 1989, 渡辺昭彦,
エゾエノキ倒木
加茂川町宇甘溪, 1ex., 4. V. 1989, 渡辺昭彦
岡山市掛畠, 2exs., 11. IV. 1982, 青野

カワラタケ類にいる普通種で非常に多い。

12. *Octotemnus omogensis* MIYATAKE, 1954

オモゴツヤツツキノコムシ [岡山県未記録]

高梁市臥牛山, 19exs., 28. VII. 1989, 川那部
カワラタケ類にいるがあまり多くない。やや高地性
の種で, ブナ帯で見られることが多い。

13. *Odontocis denticollis* Nakane et Nobuchi, 1955

ミツノツツキノコムシ [岡山県未記録]

西粟倉村若杉峠, 1ex., 29. V. 1988, 渡辺昭彦
カワラタケやヤキフタケにいるが多くない。やや高地性
の種。

14. *Orthocis ornatus* (REITTER, 1877)

マグラツツキノコムシ [岡山県未記録]

高梁市臥牛山, 1ex., 3. IX. 1988, 渡辺昭彦
備中町西油野柳平, 6exs., 10. V. 1989, 山地
備中町西油野柳平, 1ex., 27. V. 1989, 渡辺昭
彦
備中町西油野, 9exs., 9. IV. 1989, 渡辺昭彦,
エゾエノキ倒木
加茂川町宇甘溪, 1ex., 19. V. 1987, 山地
キクラゲ類にいる普通種。

引用文献

川那部 真, 1992. ツツキノコムシ-サルノコシカケ
内の超繁栄者. 昆虫と自然, 27 (13) : 15-20.

川那部 真, 1998. サルノコシカケの中にすむツツキ
ノコムシの世界. インセクタリウム, 35 (1) :
22-29.

山地 治, 1997. 岡山県産昆虫目録 鞘翅(甲虫)目.
534 pp. 株式会社ウエスコ.

おとしぶみ

ミヤマサナエの記録の訂正・追加

守安 敦

すずむし132号の「岡山県におけるミヤマサナエの
分布と新産地」の中で、本種の新産地が「有漢町下渡
瀬」となっていたが、これは「高梁市津川町八川渡
瀬」の間違いで、また、既産地の中に倉敷市水江（守
安敦, 1996, 倉敷市内のトンボに関する追加記録
(2). しぜんしくらしき, (19) : 10-13.) の記録が
もれていたので、訂正・追加しておく。

(〒710-0843 倉敷市浦田2430)

津川川流域の興味深いカミキリムシ

渡 辺 昭 彦*

津川川は吉井川の支流である加茂川のさらに支流で、勝北町と加茂町の境界付近、すなわち滝山～爪ヶ城山系の北側に位置する。この津川川流域がカミキリムシの好採集地であることは古くから知られていたようだ。津山地域の同好者を中心に調査が進められ多くの興味深いカミキリムシが記録されており、竹内(1977)¹⁾の報文によくまとめられている。また、近年になって県内唯一のフトキクスイカミキリが記録されたのもこの地域からである。

筆者はこの地に興味は持っていたものの最近まで同地を訪れる機会がなかったが、1995年の夏に津山市の福田元信氏に案内をいただき初めてこの地で採集を行うことができた。そして、予想以上に好採集地であることを理解し、以後何回か採集に訪れることとなった。まだ採集回数も少なく今後も機会を見て調査を継続するつもりはあるが、県内未記録や県内での記録の少ないカミキリムシが得られたので、とりあえず興味深いと思われる記録を報告するものである。

なお、調査を行った採集地は大きく下記の2カ所に分けられる。

1. 奥津川渓谷（採集記録では奥津川）

津川川上流部で、滝山の北に位置する東西の渓谷沿いで勝北町に属する地域である。標高は400mから600m程度である。伐採跡や植林地が多く広葉樹も二次林が多いが、カツラやカエデ類などの古木が点々と残っている。この渓流沿いで採集を行っている。1995年及び1996年はここでのみ採集を行っている。

2. 大糸山中腹（採集記録では大糸山）

津川ダム北岸から大糸山(848.2m)に向けて林道が延びており、加茂町に属する地域である。林道沿いに途中までは植林や二次林であるが、中腹以上にはモミを多く混じえる良好な森林が見られる。上部ではブナやミズナラも若干交えるがクスノキ科やカシ類などの常緑樹も少なからず混じえる良く発達した混交林である。採集を行ったのは林道基部から終点にかけての林道の周囲で標高400mから600m程度の範囲である。1997年に初めて訪れ、4回の採集を行っている。

文末ではあるが、採集地の案内を頂いた福田元信氏、

採集に同行して頂いた光枝洋、山地治、豊嶋亮司の各氏にはこの場を借りてお礼申し上げる。

採集記録（採集者はすべて筆者）

1. *Megasemum quadrisostulatum* KRAATZ
オオクロカミキリ
大糸山, 2♂, 20. VII. 1997
県内では加茂町の黒木ダムより1頭が記録²⁾されているだけである。
当地では薄暮時に飛んでいる個体を何頭も見かけたが、高所を直線的に飛行するため容易に採集できず、やっと1頭のみネットインした。もう1頭は灯火採集に夜間飛来した個体である。
2. *Stenocorus coeruleipennis* (BATES)
フタコブルリハナカミキリ
大糸山, 1♀, 20. VII. 1997
加茂町倉見³⁾と中和村山乘山⁴⁾からの記録が知られているのみである。リョウブの花より得られた。
3. *Macropidnia japonica shikokensis* (HAYASHI)
シコクヒメコブハナカミキリ
奥津川, 1♂, 23. VI. 1996; 3♂ 1♀, 8. V. 1997
県内からは、後山と人形峠の2例の記録⁵⁾のみが知られている。カツラの木の樹幹より得られた。渓流沿いにカツラは少なくない。
4. *Judolia cometes* (BATES)
マルガタハナカミキリ
大糸山, 1♀, 20. VII. 1997
リョウブの花より得られた。
5. *Leptura latipennis* (MATUSHITA)
ハネビロハナカミキリ
奥津川, 1♂, 11. V. 1997
倒木に止まっていた個体で、山地氏が発見したものを採集させて頂いた。
6. *Japanostrangalia dentatipennis* (Pic)
ヒゲジロハナカミキリ
大糸山, 1♂, 20. VII. 1997
リョウブの花より得られた。
7. *Strangaliella shikokensis* (MATUSHITA)
タテジマハナカミキリ
奥津川, 1♀, 20. VII. 1996

* 〒701-0111 倉敷市上東1050-1

- 大糸山, 1♀, 20. VII. 1997
奥津川ではノリウツギ, 大糸山ではリョウブの花より得られた。
8. *Parastrangalia lesnei* (Pic)
ニヨウホウハナカミキリ
大糸山, 1♀, 20. VII. 1997
リョウブの花より得られた。県内の記録は多くない。
9. *Mimostrangalia dulcis* (BATES)
ジャコウホソハナカミキリ
大糸山, 1♂, 8. VI. 1997
県内の既知記録は神郷町新在家の1例^①のみである。サワフタギの花より得られた。この個体は、神郷町の個体と同じく背面全体が赤いf. *kinoshitai*という型である。
10. *Idiostrangalia contracta* (BATES)
ミヤマホソハナカミキリ
大糸山, 1♀, 20. VII. 1997
リョウブの花より得られた。前胸背及び腹部の黒色の個体である。
11. *Glaphyra kobotokensis* OHBAYASHI
コボトケヒゲナガコバネカミキリ
奥津川, 1♂, 27. IV. 1997
県内からは点々と記録があるが、多いものではない。この個体は、イロハカエデの花より得られた。谷沿いに食樹のミツバウツギは少なくないが、気を付けて探しても食痕は発見できず、当地での個体密度は高くないようである。
12. *Glaphyra kojimai* (MATSUSHITA)
コジマヒゲナガコバネカミキリ
奥津川, 2♂ 2♀, 19. V. 1996
大糸山, 1♂, 18. V. 1997; 4♀, 8. VI. 1997
13. *Glaphyra gracilis* HAYASHI
オダヒゲナガコバネカミキリ
奥津川, 1♂, 19. V. 1996
大糸山, 1♀, 18. V. 1997
いずれもカエデの一種の花より得られたが、周囲にモミが多くある所で採集している。
14. *Rosalia batesi* HAROLD ルリボシカミキリ
大糸山, 1♂, 20. VII. 1997
リョウブの花より得られた。奥津川は古くから本種の産地として知られ^③ている。
15. *Kazuoclytus lautoides* HAYASHI
ヤマトシロオビトラカミキリ
大糸山, 1♀, 18. V. 1997
- 岡山県未記録種である。カエデの一種の花より得られ、採集地の周囲にはモミが多くある。
16. *Clytus auripilis* BATES キンケトラトラカミキリ
奥津川, 1♀, 11. V. 1997
山地氏が発見したものを採集させて頂いた個体で、大型でやや淡色である。さほど少ないものではないが、発表された記録は多くない。
17. *Anaglyptus niponensis* BATES
トガリバアカネトラカミキリ
大糸山, 1♀, 27. IV. 1997; 1♂, 18. V. 1997
18. *Anaglyptus subfasciatus* *subfasciatus* Pic
スギノアカネトラカミキリ
奥津川, 1♂, 11. V. 1997
大糸山, 1♀, 11. V. 1997; 1♂, 18. V. 1997
多いものではないが、竹内(1977)④により奥津川から既に記録されている。
19. *Anaglyptus matsushitai* HAYASHI
マツシタトラカミキリ
大糸山, 1♀, 20. VII. 1997
リョウブの花より得られた。
20. *Cleomenes takiguchi* OHBAYASHI
タキグチモモブトホソカミキリ
大糸山, 5♂ 4♀, 20. VII. 1997
県内での今までの記録は瀧山からのみ^⑤である。リョウブの花より少なからず得られ驚いたものである。当日同行して頂いた光枝洋氏も同様に10頭程度を探集している。
21. *Cylindilla grisescens* BATES
ハイイロツツクビカミキリ
奥津川, 1♀, 19. V. 1996
22. *Graphidessa venata* BATES
クモノスモンサビカミキリ
大糸山, 2♂, 8. VI. 1997
23. *Callapoecus guttatus* BATES
ゴイシモモブトカミキリ
奥津川, 1♂, 30. VII. 1995
ビーティングで得られた。
24. *Saperda tetrasigma* BATES
ムネモンヤツボシカミキリ
奥津川, 5♂ 5♀, 2. VI. 1996
サルナシのひこばえより後食中の個体が得られた。
25. *Paramenesia kasugensis* (SEKI et KOBAYASHI)
カスガキモンカミキリ
大糸山, 1♀, 20. VII. 1997

岡山県内の記録は少なく3例が知られているのみであるが、近くの滝山^③及び奈義町^④からの記録がある。

26. *Eumeocera gleneoides* (GRESSITT)

シラホシキクスイカミキリ

奥津川, 1♂, 20. VII. 1996; 2♂, 20. VII.
1997

1996年の個体は灯火採集、1997年の個体はシナノキのスウェーピングにより得られた。

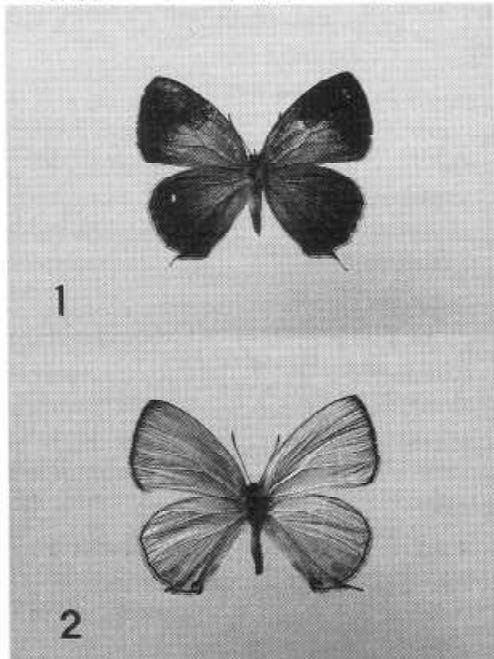
岡山県内の好採集地は、臥牛山などを除くと県北背稜山地の比較的高標高地のブナ～ミズナラを主体とする夏緑林が多いが、それは県内の中・低標高地帯は大部分が二次林か植林で覆われ植生の良く保存された所がほとんど無いためでもある。ここでは、標高400mから600mあたりに良く保存された植生が残されており興味深い所である。他の甲虫類も興味深いものが得られており、今後も調査を継続するとともに、整理ができ次第発表していきたいと考えている。

おとしふみ

勝央地方でのウラクロシジミの記録

未宗安之

筆者は、勝央地方では未記録と思われるウラクロシジミを採集しているので、報告しておく。



引用文献

- 1) 竹内幸夫, 1977. 津川川流域の昆虫相. 岡山県津川ダム計画に関する環境調査報告.
- 2) 山地治, 1979. 岡山県のカミキリムシ数種の記録・訂正. すずむし (116): 45-46.
- 3) 青野孝昭・宇野弘之・重井博・脇本浩, 1970. 岡山県のカミキリムシ. すずむし (105): 1-42.
- 4) 山地治, 1991. 岡山県内で採集したカミキリムシ数種の記録・訂正. すずむし (126): 27.
- 5) 山地治, 1984. 岡山県のカミキリムシ数種の記録. すずむし (119): 9.
- 6) 平田信夫, 1972. 岡山県のカミキリムシ (追録). すずむし (108): 79-85.
- 7) 山地治, 1975. 岡山県のカミキリムシ数種. すずむし (111): 22.
- 8) 山地治, 1997. シコクヒメコブハナカミキリの記録. すずむし (132): 35.

1♀ (写真1), 英田郡大原町金谷, 24. VI. 1992
3exs., 同所, 16. V. 1993, 幼虫採集

採集地は、マンサクの自生する県道沿いの小さな谷であるが、その後、この産地は伐採が進んでいる。

1♂ (写真2), 勝田郡勝田町山本, 23. VI. 1996
川沿いのオニグルミの上を飛翔していた。他にも数頭の♂を目撃している。

(〒709-4236 英田郡作東町川北19)

広島県尾道市でのオオヨツスジハナカミキリの記録

山地 治

織田明文氏からオオヨツスジハナカミキリの採集個体をいただいたが、広島県昆虫誌(1997)によると本種の尾道市からの記録は無いようなので報告しておく。
Leptura regalis (BATES)

オオヨツスジハナカミキリ

広島県尾道市千光寺公園, 1♂, 20. VII. 1997, 織田明文氏採集

千光寺公園に行った際、足元に飛来してきた本種を採集されたそうである。

本種を下さった織田明文氏に感謝申し上げる。

(〒701-1221 岡山市芳賀5116-11)

奄美大島・喜界島で採集した蜂類について

原田 裕康*

1994年7月19日から22日まで、奄美大島と喜界島において、観光をかねて蜂の採集をしたので報告しておこう。

報告にあたり、いつも採集品を同定してくださり、懇切な指導を賜っている羽田義任先生に厚くお礼申し上げる。

採集月日と採集地について

7月19日：奄美大島（笠利町、龍郷町、大和町）

20日：喜界島

21日：奄美大島（大和町、瀬戸内町）

22日：奄美大島（龍郷町赤尾木）

蜂類の目録

I. ツチバチ科

1. *Campsomeriella annulata sakaguchii* (UCHIDA)
サガグチハラナガツチバチ
喜界島（トンビ崎）、2♂；喜界島、1♀；龍郷町（赤尾木）、1♀
2. *Campsomeris mojiensis ruykuyana* TSUNEKI
アカアシハラナガツチバチ
大和町（マテリヤの滝）、3♂
3. *Scolia hoozanensis* BETREM ホーザンツチバチ
大和町（マテリヤの滝）、1♀
4. *Scolia quadripastulata formosensis* BETREM
ヨツボシツチバチ
龍郷町（赤尾木）、1♀

II. ドロバチ科

5. *Delta esuriense* (FABRICIUS) クロスジズズバチ
瀬戸内町（古仁屋）、1♂；瀬戸内町、1♀；龍郷町（赤尾木）、1♀
6. *Rhynchium quinquecinctum murotai* TANO
ムロタオオドロバチ
瀬戸内町（古仁屋）、2♀
7. *Anterhynchium flavomarginatum amamense* TANO
アマミフタオビドロバチ
大和町（マテリヤの滝）、3♂；龍郷町（今井崎）、2♀；瀬戸内町（古仁屋）、1♀

III. スズメバチ科

8. *Vespa analis eisa* SK. YAMANE
オキナワコガタスズメバチ
瀬戸内町、1♀
9. *Vespula shidai amamiana* SK. YAMANE
アマミクロスズメバチ
大和町（マテリヤの滝）、1♀
10. *Polistes rothneyi iwatai* van der VECHT
キアシナガバチ
笠利町、1♀；喜界島（百之台）、1♀；大和町（マテリヤの滝）、1♀

IV. アナバチ科

11. *Sphex diabolicus flammnitrichus* STRAND
キンモウアナバチ
大和町（マテリヤの滝）、1♂
12. *Sphex argentatus argentatus* FABRICIUS
クロアナバチ基名亞種
大和町（国直海岸）、1♀
13. *Isodontia nigella* (SMITH) コクロアナバチ
瀬戸内町（古仁屋）、1♂
14. *Liris aurulentus* (FABRICIUS)
キンイロコオロギバチ
笠利町、1♂
15. *Liris festinans festinans* (SMITH)
ヒメコオロギバチ
龍郷町（今井崎）、1♀

16. *Tachysphex nigricolor nigricolor* (DALLA TORRE)
ヌカダカバチ
龍郷町（赤尾木）、1♂
17. *Bembecinus hungaricus amamiensis* TSUNEKI
アマミスナハキバチ
笠利町、5♀

V. ムカシハナバチ科

18. *Hylaeus insularum insularum* YASUMATSU et HIRASHIMA
クロシオメンハナバチ
喜界島、9♂ 3♀；大和町（マテリヤの滝）、1♀

* 〒701-4265 邑久郡長船町福岡453-7

19. *Hylaeus* sp. メンハナバチの一種
喜界島, 1♂

VI. コハナバチ科

20. *Halictus aerarius* (SMITH) ssp. ?
喜界島, 1♀; 龍郷町 (赤尾木), 1♀
21. *Lasioglossum subopacum* (SMITH)
アマミノコハナバチ
大和町 (マテリヤの滝), 1♂

VII. ハキリバチ科

22. *Chalicodoma disjunctiformis* (COCKERELL)
ネジロハキリバチ
龍郷町 (赤尾木), 1♀

VIII. ケブカハナバチ科

23. *Xylocopa amamensis* SONAN アマミクマバチ
笠利町, 3♀; 笠利町 (蒲生崎), 1♀; 濱戸内町,
1♀; 龍郷町 (赤尾木), 1♀

1995年に採集した竹富島・波照間島の蜂類について

原田 裕康

1995年7月14日から19日まで、竹富島・波照間島・石垣島において観光をかねて蜂を探集をしたので報告しておく。

報告にあたり、いつも採集品を快く同定してくださっている羽田義典先生に厚くお礼申し上げる。

採集日と採集場所について

7月15日: 竹富島

16日: 波照間島 (高那海岸)

17日: 波照間島 (西浜, 民宿たましろ)

18日: 波照間島 (ペムチ浜)

19日: 石垣島 (石垣空港)

蜂類の目録

I. シリアゲコバチ科

1. *Leucospis sinensis* WALKER
オキナワシリアゲコバチ
西浜, 1♀

II. ツチバチ科

2. *Scolia yayeyamensis* (MATSUMURA et UCHIDA)
ヤエヤマツチバチ
ペムチ浜, 1♀; 石垣空港, 1♀

3. *Scolia quadripustulata formosensis* BETREM
ヨツボシツチバチ
竹富島, 1♂; 西浜, 1♂; ペムチ浜, 1♂

III. ドロバチ科

4. *Delta esuriense* (FABRICIUS) クロスジズズバチ
西浜, 1♀ (18. VII)

5. *Pachymenes yayeyamensis* (MATSUMURA)

- ヒメトックリバチモドキ
民宿たましろ, 1♀

6. *Rhynchium quinquecinctum nambui* SK. YAMANE
ナンブオオドロバチ
(=フカイドロバチ八重山亞種)

- 竹富島, 1♀; 高那海岸, 1♀; 西浜, 1♀; ベムチ浜, 1♂

7. *Anterhynchium flavomarginatum umenoi*
(YASUMATSU) ヤエヤマフタオビドロバチ
竹富島, 1♂

8. *Euodynerus nipanica ryukyuensis* TANO
ヤエヤマミカドドロバチ
ペムチ浜, 1♂ 1♀

IV. スズメバチ科

9. *Vespa affinis* (LINNAEUS) ツマグロスズメバチ
ペムチ浜, 1♀

10. *Ropalidia fasciata* (FABRICIUS) ヒメアシナガバチ
竹富島, 1♀

V. アナバチ科

11. *Sphex diabolicus flammifrichus* STRAND
キンモウアナバチ
西浜, 1♂

12. *Prionyx viduatus* (CHRIST) オキナワアナバチ
高那海岸, 1♀

13. *Ammophila atripes formosana* STRAND
タイワンジガバチ

- 西浜, 1♀; ベムチ浜, 1♂ 1♀
14. *Liris subtessellatus docilis* (SMITH) コオロギバチ
民宿たましろ, 1♀
15. *Bembix formosana* BISCHOFF タイワンハナダカバチ
竹富島, 4♀ (竹富島初記録)
マサキに似た花が、砂浜にクサトベラに混じって咲いていた。その花上に飛来したものを探集した。
探集した個体以外にも数頭飛んでいた。
16. *Bembecinus bimaculatus* (MATSUMURA et UCHIDA)
リュウキュウスナハキバチ
竹富島, 1♀; 高那海岸, 1♀
- VI. コハナバチ科
17. *Nomia pavonula* COCKERLL
ミナミアオスジハナバチ
竹富島, 1♀

18. *Lasioglossum kumejimensis* (MATSUMURA et UCHIDA)
ケメジマコハナバチ
ベムチ浜, 1♂
- VII. ハキリバチ科
19. *Megachile yaneyamaensis* YASUMATSU et HIRASHIMA
ヤエヤマキバラハキリバチ
竹富島, 1♂ 1♀
- VIII. ケブカハナバチ科
20. *Amegilla senahai senahai* (YASUMATSU)
アオスジコシブトハナバチ
竹富島, 1♀
波照間島にもいたが、探集しなかった。
(〒701-4265 邑久郡長船町福岡453-7)

1996年に採集した沖縄の蜂類について

原 田 裕 康

1996年4月21日に久米島を、そして7月14日から16日まで南大東島、7月17日に沖縄南部にある奥武島と久高島へ観光と蜂の採集をかねて旅行したので報告しておく。
報告にあたり、採集品を同定してくださった福井県の羽田義任先生に厚くお礼申し上げる。

採集月日と採集地について

- 4月21日：久米島仲里村（比屋定パンタ）
7月15日：南大東島
16日：南大東島
17日：沖縄南部（奥武島、久高島）

蜂類の目録

- I. ツチバチ科
1. *Scolia quadripustulata formosensis* BETREM
ヨツボシツチバチ
久高島（知念村）、1♂
- II. ドロバチ科
2. *Euodynerus trilobus* (FABRICIUS) ジュウジドロバチ
南大東島、5♂ 1♀, 15. VII.; 1♀, 16. VII.
また、南大東島から持ち帰ったキゴシジガバチの古巣から本種が羽化してきた。

- 5♂ 1♀ (26. VI. ~ 1. VII. 1997)
- III. アナバチ科
3. *Isodontia nigella* (SMITH) コクロアナバチ
南大東島, 1♂, 16. VII.
4. *Sceliphron madraspatanum kohli* SICKMANN
キゴシジガバチ
南大東島, 1♀, 15. VII.
5. *Chalybion bengalense* (DAHLBOM)
ベンガルルリジガバチ
南大東島, 1♀, 16. VII.
6. *Liris subtessellatus docilis* (F. SMITH)
コオロギバチ
南大東島, 1♂, 15. VII.
7. *Bembecinus bimaculatus* (MATSUMURA et UCHIDA)
リュウキュウスナハキバチ
久高島（知念村）、1♀

- IV. ヒメハナバチ科
8. *Andrena okinawana* MATSUMURA et UCHIDA
ミナミキバナヒメハナバチ
久米島（仲里村）、3♀

V. ハキリバチ科

9. *Megachile okinawana* YASUMATSU et HIRASHIMA
オキナワキバラハキリバチ
奥武島 (玉城村), 1♂ 1♀

VI. ケブカハナバチ科

10. *Xylocopa flavifrons* MATSUMURA オキナワクマバチ
久高島 (知念村), 1♀

春に久米島へ行ったときには、前日に天候が悪く、気温が低かったため、あまり蜂類は飛んでいなかった。

夏に南大東島を訪れたときには、ちょうど台風6号が接近してきたため、あまり成果が挙がらなかった。

けれどもともとこの島には、それほど蜂の種類数が多くないのかもしれない。そんな中でもキゴシジガバチ、ベンガルルリジガバチ、ジュウジドロバチは、島内で比較的多く見ることができた。

(〒701-4265 邑久郡長船町福岡453-7)

岡山県からのキアシシモフリコメツキ採集記録

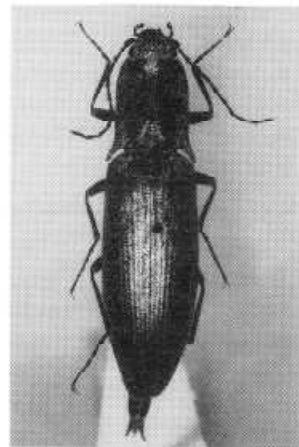
青野孝昭

岡山県下のキアシシモフリコメツキ採集記録については、渡辺昭彦 (1984) による *Actenicerus* sp. キアシシモフリコメツキという報告があるが、この報告に用いられた標本は後に KISHII (1985) によって記載された新種 *Actenicerus ashiaka* KISHII アシアカオオシモフリコメツキの Holotype に指定されたことを渡辺昭彦氏御本人よりお聞きしており、実質的には未記録であったと思われる。

筆者は大平仁夫 (1989) の“日本産シモフリコメツキ類について (2)”中にでてくるホソシモフリコメツキ *Actenicerus yamashitai* OHIRA の解説記事によく一致する採集標本を、この度大平仁夫博士に見ていただいたところ、間違いないとの同定結果と、現在この種はキアシシモフリコメツキ *Actenicerus kiashinus* (MIWA) の Synonym として整理されていることも併せてご教示戴いた。

ご多用中の身を省みられず、快く同定の労を執ってくださり、この種についてのご教示にとどまらず、発表用の標本写真まで撮ってくださった大平仁夫博士のご厚意に心からの感謝を申しあげ、この機会に筆者採集の岡山県内産標本の採集データを以下に記録する。

- 1♂ 1♀, 苫田郡加茂町倉見, May 27, 1985 (うち 1♂ 大平博士同定)
1♂, 苫田郡奥津町岡山県立森林公園, May 24, 1981
1♂, 真庭郡新庄村土用, June 3, 1984
1♂, 真庭郡新庄村土用, June 2, 1985
2♂, 真庭郡新庄村毛無山, June 6, 1993 (うち 1♂ 大平博士同定, 写真, 体長13mm)
1♂, 真庭郡新庄村毛無山, May 23, 1994
以上の標本のうち、倉見産 1♂ 1♀ 及び 1993年採集



の 1♂ が大平博士のコレクション中に保管され、それ以外は倉敷市立自然史博物館と筆者の手元に保管されている。

大平 (1989) の解説の時点での分布の南限は兵庫県で、さらに南まで拡大する可能性があると指摘されていた本種は、その後中国地方ではすでに広島県から記録されている。岡山県内においても、これまでの採集例からみて、冷涼な中国山地には普通に近い状態で分布しているものと考えられる。

参考文献

- 比婆科学教育振興会編, 1997. 広島県昆虫誌 I.
pp. 636, 広島県庄原市.
KISHII, T., 1985. Some new forms of Elateridae in Japan (XVII). *Bull. Heian High School*, (29): 1-30.
大平仁夫, 1989. 日本産シモフリコメツキ類について. 月刊むし, (219): 23-27.
OHIRA, H., 1990. Notes of Some Elaterid-beetles from Japan (XXIII). *Jpn. J. Ent.*, 58 (3): 667-669.
渡辺昭彦, 1984. 岡山県のコメツキムシ追録 I. すずむし, (119): 13-14.
(〒710-0817 倉敷市大内937-8)

岡山県におけるムスジイトトンボの分布と新産地

守 安 敦*

ムスジイトトンボ *Cercin sexlineatum* (SELYS) は、日本に生息するクロイトトンボ属中もっとも暖地に分布している種類である。宮城県以南の本州と四国、九州および南西諸島に生息し、壱岐、五島列島、久賀島、天草諸島などの離島にも見られ、南西諸島では主要な島嶼のほとんどすべてで記録されている。本州では内陸部や日本海側では稀である。

平地の挺水植物が繁茂する池沼や湿地の滞水、水郷の溝、水田などに生息し、しばしば海岸の汽水沼でもみられる。

本種の岡山県での産地は、倉敷川（瀧崎町彦崎磯から岡山市縁換地）¹⁾、倉敷市児島通生通生大池²⁾、倉敷市種松山山系³⁾、倉敷市粒江横谷池⁴⁾が報告されている。

新たに筆者は、今まで記録のなかった真備町において本種を採集しているので報告する。なお、() 内に採集地のメッシュコードを示しておく。

1 ♂ 1 ♀, 真備町箭田高津池 (51337564), 11. X.
1997, 筆者採集・保管 [写真1 : ♂, 2 : ♀]

採集地の池は、直径が約200mで、周囲にセメントの護岸がされているが、岸の一部にヨシなどが生え遠浅になっている部分がある。遠浅になっている部分の底は砂地で、水質が良いためガガブタなどの水草も見られる。ガガブタの葉上に止まり、時々低く飛びまわっていた個体を採集した。

また、倉敷昆虫館に収蔵されている標本を調べたところ、以下のデータの岡山県産本種の標本を確認したので、あわせて報告しておく。

3 ♂ 1 ♀, 鴨方町, 13. VI. 1954, 安東瑞夫採集,
倉敷昆虫館保管

これらの産地を、岡山県地図にプロットすると、図1のようになる。

これを見ると、本種の記録が、岡山県の南西部に限られることがわかる。今後、岡山県南東部での詳しい調査が必要である。

引用文献

- 1) 佐藤國康, 1991. 倉敷市由加山系の自然—南東部

* 〒710-0843 倉敷市浦田2430

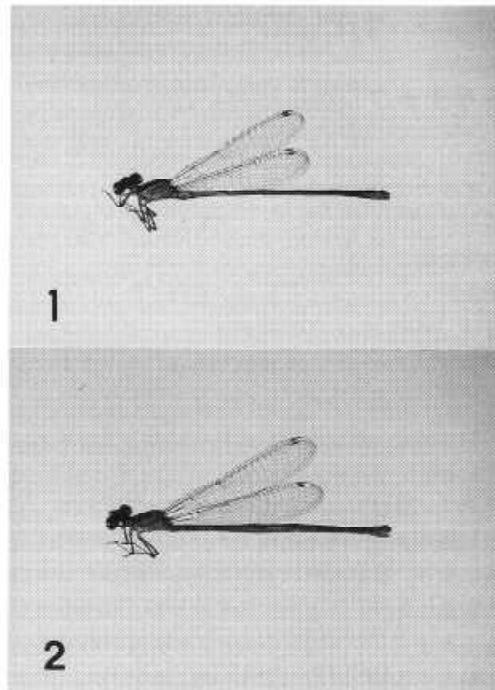


図1. 岡山県におけるムスジイトトンボの産地

●：過去の記録

○：倉敷昆虫館の収蔵標本の産地

☆：今回筆者が確認した産地

(詳しい地名を特定できないものは、市町村の中央部にプロットした。)

- 地域（特にC地区）一、倉敷市山加山系南東部地域の野生動物, pp.37-109. 倉敷の自然を守る会, 倉敷。
- 2) 重井博, 1980. 竜王山山系のトンボ目, 倉敷の自然, 竜王山山系, pp.49-52. 倉敷市衛生局環境部,

倉敷。

- 3) 守安敦, 1994. 最近の種松山山系のトンボ, すずむし, (128): 1-3.
- 4) 守安敦, 1996. 倉敷市内のトンボに関する追加記録(1), しぜんしくらしき, (16): 11-13.

おとしふみ

トゲナナフシ岡山県初記録なる

近藤光宏

トゲナナフシ（写真の個体）は、1997年11月9日、倉敷市児島由加山において、山崎法子氏（倉敷市立自然史博物館友の会）によって採取された。

岡山県下でこれまでに生息が確認されているナナフシ目は、ナナフシ、エダナナフシ、トビナナフシ、ヤスマツトビナナフシの4種類である。トゲナナフシの近県の生息状況から考えて県内分布は予想されるところであったが、長い間確認されないまま今日に至っていた。

ナナフシ目はもともと小さなグループである。この度の記録によって岡山県産ナナフシ目が一種増えて5種類になり、生息種数において一応近県並になったとの意義は大きい。また、兵庫県では「兵庫県RDB（レッドデータブック）」の中で日本版RDBの希少種に相当する種と位置付けている。すなわち、兵庫県では分布が極限されること、そして希少であることなど兵庫県内において存続基盤が脆弱な種であることが主な理由とされている。

本州（岐阜、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫）、四国（高知）、九州（北九州）に分布。兵庫県では神戸・阪神、西播磨、丹波、淡路から記録がある（兵庫県1997）。鳥取県では鳥取市湖山町南で1個体の記録がある（永幡嘉之, 1993）。四国では高知市宇賀での記録報告がある（中山紘一, 1996）。九州では北九州市に分布の報告がある（田畠郁夫, 1993）。しかし、広島・香川両県の記録は不明である。

[データ]

Neohirasea japonica (de HAAN) トゲナナフシ

倉敷市児島由加山, 1♀と9卵, Nov.9, 1997.
山崎法子氏採集, (倉敷市立自然史博物館保管)

なお、卵については採取後飼育中に産卵したものである。

本種は光沢のない黒褐色で、背面には多数の小さな棘があり、前胸の前部にも一对の長い棘があるなど、他のナナフシ類には見られないかなり特異な形態をし

ている。体長は60mm内外。



山崎法子氏 撮影

成虫は秋に出現しいろいろな植物につくが、高い木には登らない。

岡山県におけるトゲナナフシ発見の遅れは、一つには成虫出現期が9~11月と遅いことや、二つにはこれまでの発見場所が民家の軒下（永幡嘉之, 1992）であったりという意外性などによるものと思われる。

今後これらの調査ポイントを参考に探せば県内の他地域からの採取も可能であろう。

おわりに、大変貴重な記録について発表の機会をお与えいただいた採集者である山崎法子氏に対し深謝申し上げる。

引用文献

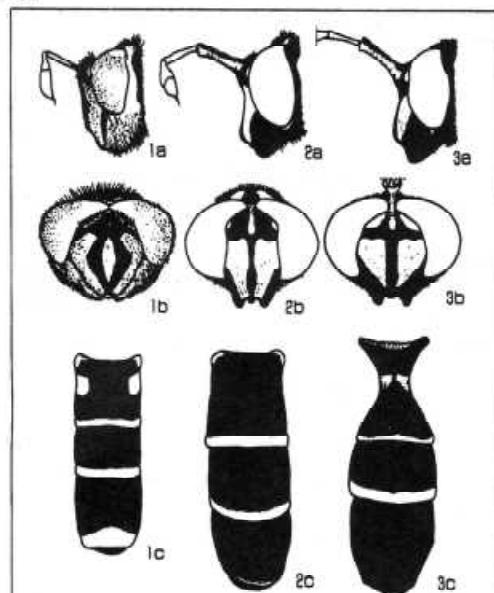
- 青野孝昭・奥島雄一編, 1994. 倉敷市生物目録（昆虫類）, pp.93-233. 倉敷市立自然史博物館, 倉敷。
平鷗義宏, 1989. 日本産昆虫総目録. ナナフシ目, p.58. 九州大学農学部昆虫学教室・日本野生生物研究センター, 北九州。
兵庫県, 1997. 兵庫の貴重な自然兵庫県版レッドデータブック, p.7, p.34, pp.108-109. 兵庫県環境科学技術センター, 神戸。
永幡嘉之, 1992. トゲナナフシを鳥取市で採集, 因幡のむし, (28): 8. 鳥取大学昆虫同好会。
中山紘一, 1996. トゲナナフシ, げんせい, (69): 0. 高知昆虫研究会。

野沢 登, 1988. 学研生物図鑑昆虫Ⅲ. p.63, p.300.
学習研究社, 東京。
重井 博ほか5名, 1978. 岡山県の昆虫. 岡山県昆虫
生息調査報告書, pp.102-146. 岡山県, 岡山。
田畠郁夫, 1993. 北九州のナナフシ北九州市で見られ
るナナフシ, (45): 8-10. 北九州自然史友の会。
(〒710-0046 倉敷市中央2-6-1, 倉敷市立自然史博物館)

岡山県からのヒサマツハチモドキハナアブの記録

近藤光宏

手元の標本の中に本種と思われるものが2個体いた
が、未同定のままになっていた。ところがこの度、徳
島県立博物館主任学芸員大原賢二氏の本族に関する報
文に接し、照合する機会に恵まれた。その結果、ヒサ
マツハチモドキハナアブであることが分かった次第で
ある。



ハチモドキハナアブ族のオスの頭部側面(a), 頭部正面(b: 触角は省略)および
腹部背面(c) 1:ケブカハチモドキハナアブ 2:ヒサマツハチモドキハナアブ
3:ハチモドキハナアブ

図1 大原賢二(1997), インセクタリュウム,
p.23から転写

同報文によると、ハチモドキハナアブ族 *Cerioidini* は、日本ではこのほかにケブカハチモドキハナアブ *Primoceroides petri* と、ハチモドキハナアブ *Monoceromyia pleuralis* の2種が知られている。日本産の3種の区別(図1参照)は容易で、触角の付け根が伸びず、複眼や顎などに沢山の毛を持つのがケブカハ

チモドキハナアブ、触角の付け根が長く伸びて、複眼の第2節が強くくびれているのがハチモドキハナアブ、腹部がくびれていないのがヒサマツハチモドキハナアブである。ハチモドキハナアブとヒサマツハチモドキハナアブの2種の複眼は無毛である。また、3種とも触角、特に第1節が伸長する。

なお、池崎善博・市場利哉(1995)はその報告の中で「九州では大牟田で採集されたことがあるが、少ない。原色昆虫大図鑑(北隆館)にハチモドキハナアブとして図示されている標本は本種である」と述べている。

データ

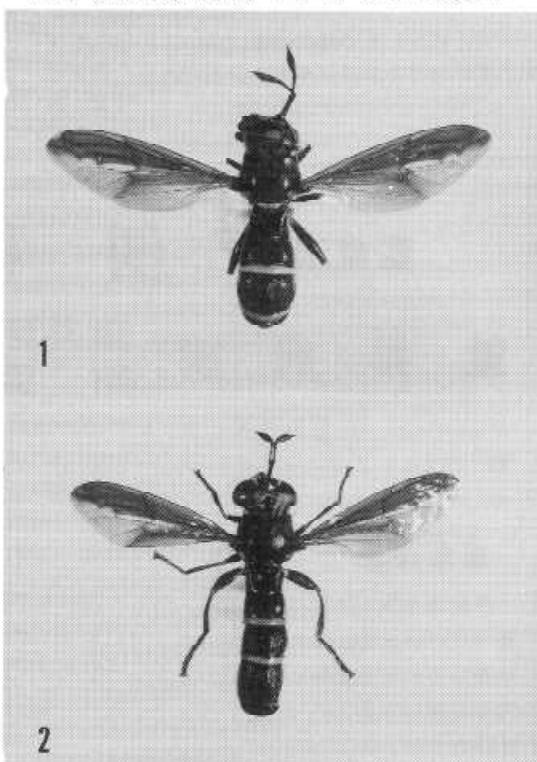
Ceriana japonica (SHIRAKI, 1968)

ヒサマツハチモドキハナアブ

1♀, 倉敷市小黒田, 25.V.1975(写真1)

(農薬の空中散布後落下?)

1♂, 赤磐郡熊山町畠, 1.V.1994(写真2)



上記の標本を実測したところ、体長は約13mmであった。本種は本州、四国、九州の低地に分布し、各種の花に集まっている。また、幼虫は朽ち木の中で育つのではないかと考えられている。なお「ハチモドキハナアブ」の名前は、ハチのなかでも特にドロバチ類にきわめてよく似ているところからつけられている。

引用文献

- 池崎善博・市場利哉, 1995. 佐賀県で採集したハナアブ類, 佐賀の昆虫, (29) : pp.661-668. 佐賀昆虫同好会.
- 大原賢二, 1997. 今月の虫 (ケブカハナバチ), インセクタリュウム, (3) : p.23. 東京動物園協会.

多摩動物公園昆虫愛好会, 東京.

- 平鷗義宏, 1989. 日本昆虫総目録, ハエ目, pp.699-873. 九州大学農学部昆虫学教室・日本野生生物研究センター, 北九州.

(〒710-0046 倉敷市中央2-6-1, 倉敷市立自然史博物館)

-----目-----

岡山県及び周辺地域から採集した

ナガゴミムシ類 (I)	山地 治 1
岡山県内産アリファアブ属 5種について…近藤光宏	7
岡山県のツツキノコムシ科甲虫類分布資料	
…川那部真・吉原一美・青野孝昭・山地 治 11	
津川川流域の興味深いカミキリムシ…渡辺昭彦	14
奄美大島・喜界島で採集した蜂類について	
…原田裕康 17	
1995年に採集した竹富島・波照間島の蜂類について	
…原田裕康 18	
1996年に採集した沖縄の蜂類について…原田裕康	19
岡山県におけるムスジイトトンボの分布と新産地	
…守安 敦 21	

-----次-----

一おとしふみー

キガオナガハナアブ岡山県内の記録3例	近藤光宏 10
ミヤマサナエの記録の訂正・追加…守安 敦 13	
勝央地方でのウラクロシジミの記録…末宗安之 16	
広島県尾道市での	
オオヨソスジハナカミキリの記録…山地 治 16	
岡山県からのキアシシモフリコメツキ採集記録	青野孝昭 20
トゲナナフシ岡山県初記録なる…近藤光宏 22	
岡山県からのヒサマツハチモドキハナアブの記録	近藤光宏 23

医療法人 創和会

理事長 重井文博

重井病院

重井医学研究所
附屬病院

重井医学研究所

〒710-0051 倉敷市幸町2-30

〒701-0202 岡山市山田2117

〒701-0202 岡山市山田2117

☎ (086) 422-3655

☎ (086) 282-5311

☎ (086) 282-3113

編集後記

予定より少し遅れたけれども、何とか1997年度分まで取り戻せました。原稿をお寄せ頂いた方、本当に有難うございます。これで来年3月までにもう1号出せばバッタリ追いつきます。でも、相変わらず台所事情は苦しくて、ちなみに次号送りとなった原稿は、20行程の短報が1件のみ。今後とも、皆さんの更なるご協力をお願いする次第であります。ところで、久々に編集作業にタッチしましたが、これはこれでシンドイですね！

(KW)

す す む し 133号

1998年5月20日発行

発行者 倉敷昆虫同好会 (〒710-0051 倉敷市幸町 重井病院8階 倉敷昆虫館内)

Tel. 086(422)3655(内線359) FAX. 086(421)1991

振替口座 01210-2-6927

印刷所 サンコー印刷株 (総社市真壁871-2)